



今月のテーマ

# ブリムフィールドの骨董市へ行こう (前編)

インテリアコーディネーター、食空間プランナーで、日本クラブ・カルチャー講座の講師も務める大石育子さんに月替わりで食卓の演出術を教えてください連載第8回目は、今週と来週の2回に分けて、「ブリムフィールド・アンティーク・ショー」を取り上げます。毎年春と夏に3回開催される骨董市、今年最後のチャンスは9月3日から8日。テーブルコーディネートに使う食器やキッチン小物を探しに毎年欠かさず出かけるという大石さんに、お宝探しの指南をお願いしました。大石さん撮り下ろしの写真とともにお届けします。



## 世界最大の野外骨董市

マンハッタンから車で約3時間。コネティカットとマサチューセッツの州境北の町、ブリムフィールドでは毎年、5、7、9月の3回、野外骨董市が開催されます。米国最古、50年以上の歴史を誇るこの野外骨董市はディーラーの数も来場者の数も世界最大。全米はもとより世界中から約5万人が駆けつけます。

## 欲しいものを決めてから回ろう

全長1マイルほどの道沿いの広場両側にはテントが張られ、ありとあらゆる種類のお宝を売るお店が、ずらりと軒を連ねています。一体どれほどの数のディーラーが参加しているのか数えたことはありませんが、軽く1000店以上は超えるといえます。1日で全部のお店を見て回るのにはほぼ不可能と言っても過言ではないでしょう。

10年以上、年に1回は必ず足を運び、欲しいものを売るお店がどこに出ているかを把握している私でも、大急ぎで見て回って3～4時間はゆうにかかるので、初めて行かれる場合は、あらかじめ欲しいものを決めて回ると良いでしょう。スニーカーなど歩きやすい靴で。土埃で汚れますので上等な靴は履かないこと。次回は9月の開催ですが、日差しはまだまだ強いので、日焼け止めと帽子は必携です。



訪れるたびに新しい発見があるのが「ブリムフィールド」の魅力。アンティーク好きでなくても十分楽しめます



## 「discount」ではなく「best price」

骨董市の醍醐味はお店の人との値段交渉。ここで注意してほしいのは、絶対に「discount」と言わないこと。お店の人は専門家としてのプライドをもって商品を売っています。そのように言われると気分を害しかねません。「Please give me your best price」とお願いしてみましょう。交渉が成立したら、笑顔とお礼を忘れずに。また、カードが使えるお店でも、現金で払うと言えば、値引きしてくれることがあります。値段の交渉もしやすくなりますよ。会場にATMもありますが、あらかじめ現金を用意したほうが安心です。ただしスリには十分気をつけましょう。



## エコバッグ、買い物カート、巻尺

広大な敷地内を見て回るため、買い物をして、そのたびに車に戻るのも一苦勞。大きなエコバッグや買い物用のカートなど持って行くと便利です。家具などを探す場合は、寸法を測る巻尺は必需品です。



戦利品は買い物カートに乗せて。ペット連れの人も多く見かけます



## ブリムフィールド・アンティーク・ショー

9月3日(火)～8日(日)

Rte. 84 &amp; Massachusetts Turnpike (Rte. 90)

<https://brimfieldantiquefleamarket.com>

※来週は、私がこれまでにブリムフィールド・アンティーク・ショーで手に入れた、アメリカンビンテージの食器を使ったテーブルセッティングと、コレクションティブルズについてご紹介いたします。お楽しみに。



大石育子

インテリアコーディネーター、食空間プランナー、英国式紅茶インストラクター。食空間プロジェクト(FSPJ)認定サロン、初級ディプロマ発行校 Atelier de Ikuko New York 主宰。「東京ドームテーブルウェア・フェスティバル2019」特別審査部門入選。日本クラブ・カルチャー講座講師、マンハッタン区在住。 <http://atelierdeikukony.amebaownd.com>

12月3日(火)午前10時30分から午後1時まで、日本クラブカルチャー講座1dayレッスン「季節のテーブルコーディネート入門講座～クリスマス・アフタヌーンティー・テーブル」を開催します。申し込みは、212-581-2223または [culture@nipponclub.org](mailto:culture@nipponclub.org) まで。詳細は [www.nipponclub.org/culture](http://www.nipponclub.org/culture) を参照。